

第2回兵庫県内ドクターヘリ運航対策検討会 議事概要

日 時：令和8年7月24日（金） 11:00～11:45

場 所：兵庫県災害対策センター1階災害対策本部室

出席者：出席者名簿のとおり

挨拶

○兵庫県保健医療部 吉川次長

- ・本日は、第2回兵庫県内ドクターヘリ運航対策検討会に出席いただき感謝申し上げます。
- ・また、猛暑が続く中、県民の救命救急医療の確保に向け、日頃から関係機関の多大な協力をいただいていることに改めて御礼申し上げます。
- ・県内ドクターヘリについては、6月及び7月にそれぞれ約2週間の運休期間が生じ、関係機関には現場対応や患者搬送において様々な負担をおかけしたが、医療機関や消防機関をはじめとする関係者の皆様の協力により、必要な代替搬送対応等を実施いただいたことに感謝申し上げます。
- ・8月以降の運航体制確保に向けては、整備士に代えて操縦士を同乗者とする「2パイロット制」の導入方針を決定した。現在、運航事業者において操縦士等の育成や技量向上に向けたOJTが実施されていると伺っている。
- ・本日は、6月の運休期間中における代替搬送等の対応状況及び8月以降の運航調整状況について報告を受けるとともに、2パイロット制導入に向けたOJTの実施状況や導入時期、整備士・操縦士の配置状況等についてご説明いただく。
- ・その上で、これらの取組に対する評価や課題、今後の安定的な運航体制の確保に向けた方策について率直な意見をいただきたい。

6月運休への対応状況

（兵庫県保健医療部医務課より資料に基づいて説明）

8月の運航調整状況について

（兵庫県保健医療部医務課より資料に基づいて説明）

0JT の実施状況・不具合発生時のバックアップ体制等について

○学校法人ヒラタ学園

- ・整備士不足によりドクターヘリ運航に支障を来し、関係機関へご負担とご心配をかけていることについてお詫び申し上げます。
- ・2パイロット制導入に向け、各基地病院の協力を得ながら操縦士及び整備士のOJTを実施している。
- ・7月は、三府県ドクターヘリにおいて操縦士2名、整備士1名、兵庫県ドクターヘリにおいて操縦士1名、整備士1名のOJTが完了している。また、三府県ドクターヘリについては本日から新たに操縦士、整備士1名ずつOJTを開始した。
- ・現時点で操縦士3名、整備士2名のOJTが終了し、今後、操縦士1名と整備士2名程度のOJTを予定している。
- ・飛行前後点検は基地病院配置の確認整備士が実施し、飛行間点検は日常点検確認者の認定を受けた機長が実施する。
- ・ランデブーポイントや搬送先医療機関で不具合が発生した場合は、左席に同乗しているものが状況を確認し、基地病院に配置している確認整備士に情報共有、指示を仰ぎ対応する。
- ・部品交換等が必要な場合は神戸本社と連携し、部品手配や指示を行う。
- ・基地病院に配置している確認整備士に対して、ヘリ課長、ヘリ部長が定期的にヒアリングを実施し、問題点等を即座に解決するような体制を整える。
- ・不具合発生時のバックアップ体制としては、現場整備士だけに判断を委ねない体制を構築し、機体に不具合が発生した場合、その判断や責任を現場の整備士だけに孤立させることはしない。
- ・また、神戸本社ではオペレーション室にて運航状況や整備状況、不具合の状況、進捗状況等を常時監視し、必要に応じ各部長に対して確認、助言、警告を行っている。

各基地病院より現場関係者の反応、方針変更の有無について報告

○県立加古川医療センター 佐野救命救急センター長

- ・2パイロット制について、スタッフからは基本的に理解を得ている。
- ・一方で、操縦士による飛行間点検や確認整備士による点検等の安全性について、不安を感じているスタッフもいるため、来週中にヒラタ学園から改めて安全対策について説明を受ける方向で調整している。

○県立はりま姫路総合医療センター 高橋救命救急センター長

- ・長期運休による緊急性の高い傷病者のリスクを踏まえ、2パイロット制を導入する方針とした。
- ・一部に抵抗感を持つスタッフも数名いるため、その者については無理に搭乗させることは考えていない。
- ・運航事業者において十分なバックアップ体制とOJTを継続し、運行スタッフにも無理をかけすぎず、安全第一で運航を進めていただきたい。

○公立豊岡病院 永嶋但馬救命救急センター長

- ・院内スタッフから2パイロット制に対する特段の反対意見はなく、OJTについても前向きに受け止められている。
- ・ヒラタ学園との連携も円滑であり、OJTについても円滑に進むものと考えている。

○兵庫県保健医療部 医務課

- ・各基地病院からの報告を踏まえ、2パイロット制の導入を予定どおり進めていく。
- ・一方で、一部スタッフに不安の声もあることから、ヒラタ学園において引き続き十分な説明とサポートをお願いしたい。その際、抵抗感を持つスタッフは同乗させないという方針は従前どおりである。
- ・また、ヒラタ学園においては、スタッフに負担となる運航調整が生じないよう、安全を最優先とした運航体制の確保をお願いする。